

マスコット
キャラクター
(フチュッピー)

研究だより No.4

令和7年度の本校研究では、各教科が目指す資質・能力の育成に向けて、「『個別最適な学び』と『協働的な学び』の一体的な充実」、さらに「ICTの活用」に重点を置き、授業改善に取り組んでいます。11月には国語科、社会科の公開授業を実施し、多くのご参観をいただきました。生徒の学びの様子や授業づくりの工夫について、貴重なご意見を頂戴しております。

本号では、両教科の公開授業の成果と課題を紹介しております。今後ともご指導・ご助言のほど、よろしくお願い申し上げます。

公開授業【国語科】の成果と課題

授業者：平岡 彩乃

国語科では第2学年「ヒューマノイド」の単元で公開授業を実施しました。本時では、生徒がこれまでに立てた問いを班で話し合いながら並び替え、物語の展開との関係を見直すことをねらいとしました。また、問いの答えを考える中で、本文を根拠に解釈をつくり、友達の考えに触れて読みを広げていくことを重視しました。

授業では、生徒が問いの順序を比較・検討しながら理解を深めようとする姿が見られ、学級全体で共有することで、作品を多面的に捉えようとする様子が見られました。

自分の解釈と他者の解釈を比べる中で視点が広がり、問いの答えや根拠の捉え方が変化する場面もあり、個別最適な学びと協働的な学びが相互に働く姿が見られました。研究協議会では、生徒が問いを手がかりに読みを深めていた点に評価をいただきました。一方で、問いの並び替えの観点をより明確にする工夫や、根拠に基づいて解釈する活動を支えるワークシートの改善などのご助言もいただきました。

今後は、問いの順序と読みの深まりの関係をより明確にし、個と学級が往還する学びづくりを通して、主体的・対話的で深い学びの実現をめざして取り組んでまいります。



公開授業【社会科】の成果と課題

授業者：横田 真衣

社会科では学年「北海道地方」の単元で公開授業を実施しました。単元を貫く問いに対する自らの考えを深めるために、前時までの学習内容を関連付け、必要な情報を収集・整理する活動を通して、社会的認識力の育成を目指しました。ICTを活用して他者との対話を通じて思考を深めるなど、多面的・多角的に北海道地方の地域的特色や課題を捉えようとする姿が見られました。研究協議会では、ゲストスピーカーやICTの有効活用については評価をいただきました。



一方、本質を考えさせるための問いの立て方や地域的特色を捉えさせるための手法、「個別最適な学び」に関する学習活動の拡充などのご指摘もいただきました。今後はこれらの課題を解決すべく、さらに授業構成の工夫を図り、より主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善に取り組んでまいります。



今後の公開授業の日程

開催日	1/20(火)	1/28(水)
教科	技術	家庭



鳴門教育大学附属中学校

〒770-0804 徳島県徳島市中吉野町1丁目31番地

088-622-3852 088-652-0122

fuchu@naruto-u.ac.jp

<https://www.secsch.naruto-u.ac.jp/research.html>

